



第21回「中曽根康弘賞」の受賞者を決定しました

中曽根平和研究所（会長：麻生太郎、理事長：中曽根弘文）は、このたび第21回「中曽根康弘賞」の優秀賞1名、奨励賞2名を決定しました。

■ 「中曽根康弘賞」とは

新しい国際秩序の創造、地域経済協力体制の構築、飢餓・貧困・環境・エネルギー問題など地球規模の課題に果敢に取り組み、且つ国際的に業績をあげている若い世代を対象として2004年に創設された表彰です。多様性（ダイバーシティ&インクルージョン）を尊重し、その努力を讃えつつ、更なる活動を奨励することで真に平和で豊かな国際社会の実現に資することを目的としています。

表彰は優秀賞1名と奨励賞若干名を基本とし、それぞれ原則として個人ですが、場合により団体も認めています。受賞者には本賞（盾）及び副賞（優秀賞100万円、奨励賞50万円）を授与しています。表彰の実施には東海旅客鉄道株式会社、トヨタ自動車株式会社、日本製鉄株式会社、東日本旅客鉄道株式会社の各社から協賛をいただいています。



■ 第21回の受賞者

優秀賞： 門田 瑠衣子 氏 （認定NPO法人PLAS）

奨励賞： 崔 智喜 氏 （東京大学総合文化研究科）

Céline Pajon 氏 （Institut français des relations internationales）

■ 授賞式の日程

日時：2025年11月28日（金） 午前10時から

場所：ザ・キャピトルホテル東急（東京都千代田区永田町2-10-3）

連絡先

中曽根平和研究所 事務局 衣川（きぬがわ）、美濃（みの）

（E mail） tkinugawa16@npi.or.jp, smينو23@npi.or.jp

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-2-2 虎ノ門30森ビル6階 （TEL）03-5404-6651

■受賞者について

優秀賞： 門田 瑠衣子 （もんだ るいこ）氏

国籍：日本

現職：認定NPO法人PLAS 代表理事

選考理由：

門田氏は特定非営利活動法人の代表として、学生時代からアフリカ支援活動に取り組み、アフリカで貧困やHIV/エイズの影響を受ける家庭の子供たちの支援を行ってきた。大学院時代から約20年以上にわたりNGOを運営しており、堅実な運営を行いながらも、現地NGOとの協働を通じて地域に根差した支援体制づくりにも取り組むとともに、クラウドファンディングやチャリティオークションなど新しい試みを通じて支援のあり方を切り拓き、若い女性支援者とともに活動を広げていることは極めて高く評価できるものである。

奨励賞： 崔 智喜 （チェ ジヒ）氏

国籍：韓国

現職：東京大学大学院 総合文化研究科 学術研究員

選考理由：

崔氏は韓国出身の研究者で、北朝鮮統一問題について韓国で修士号を取得後、日本で日韓関係、中曽根政権の研究により博士号を取得した。ジャーナリストとしての実務経験もあり、研究成果を分かりやすく発信する力がある。研究者としての将来性と教育者としての人間性を評価するとともに、日韓国交正常化60周年という節目の年に、二分法的ではない多面的な外交に焦点を当てた研究を行い、分断された考え方が蔓延する国際情勢の中で、中曽根外交について焦点をあてたことは高く評価できるものである。

奨励賞： Céline Pajon （セリーヌ パジョン）氏

国籍：フランス

現職：Institut français des relations internationales (Ifri), Head of Japan Research

選考理由：

パジョン氏はフランスの有力シンクタンクでジャパンチェアを務め、日本の外交・安全保障に関する研究に基づき、時々刻々と変化する社会的需要に応じた情報発信を積極的に展開している。アカデミズムとは異なる立場から、欧州における日本理解や欧州との関係強化において重要な役割を果たしており、その活動、業績は今後の国際的な知的交流の担い手としても高く評価できるものである。